



# 完成は八月いっぱい

## 高倉分校と橋診療所

ことしの重要事業に、仙田小学校高倉分校の増築と、橋診療所の改築がとり上げられ、いずれも八月末までに完成することになった。

合併以来第四年度の川西町に、こうして町づくりの基礎が確立され、中村船長の指揮による川西丸が、みんなの協力で大洋に乗り出してゆく喜びは大きい。

いまの校舎は明治四十四年に建てられたもので老朽はなほだしく、県からも危険校舎に指定されていた。

予算は特別会計で総額六百五十万円。このうち八十万円の国庫補助が見込まれているほか、一般会計から二百万円の繰り入れを行ない、残りの三百七十万円は起債でまかなわれる。

建築は随意契約で、小杉土建(小千谷市)が六百二十万円で請け負い、五月十五日に起工式をあげたが、八月三十一日までに完成の予定である。

旧校舎のうち、移築可能な部分五十六坪を合わせると、二階建九十六坪の一般校舎(五教室・六管理室)に、ステーション付き屋内体育館(六間×十二間)というりっぱなものとなる。なお建築期間中は、公民館や区長宅などで分散授業を行なうが、完成の日を待つ子

どもたちの顔は明るい。

### 診療所

もともとこの診療所は個人の住宅であったが、幾多のへんせんを重ねてあちこちつけ足しが行なわれてきたもの。それだけにあらゆる点で不便のことが多かった。

業者五社による競争入札の結果、山田組(小千谷市)が三百九十八万円で請け負うことに決まった。これは現在の診療所(百七十四坪)のうち百二十坪をとりくずして、百三坪を新築するものである。このほかに、現在の病室(百十坪)のうち二十坪を改築するほか、給食(三十八坪)を新築するので、総額五百万円の改築費が見込まれているが、これは橋診療所会計の管轄費から充当される。

それぞれ八月いっぱいには完成の予定だが、完成後の診療所と病室と、給食室とは近代的な施設を備えるので、すぐれた技術による高度な治療が期待されている。なお本館工事中の診療所には病室の一部があてられ、この点みなさんに不便をかけるが治療に支障はない。

中村町長の話  
合併当初の約束であったし、地元の人たちの要望も強かつたので

増築することにしました。町財政も容易なことではありませんが、一つ一つを着実に実現して、将来に悔のないりつぱな町にしてゆきたいと思つています。これからもみなさんの御協力をお願いいたします。

## 参院選終わる

六月二日執行の参議院議員通常選挙は、選挙期だったことが災いして前回を下まわる投票率だった。しかし、県平均(六一・五八)や、全国平均(五八・七四)よりもはるかに良かった。

開票は三日午前八時から行なわれたが、前回の知事県議選に比べると、無効票やいたずら書きの激減がめだつた。

町の開票結果は次のとおり。

◎開票の結果(川西町)  
選挙当日の有権者数 八六〇四人  
(男四二二九・女四三七五)  
投票者数 六三三六人  
(男三一九九・女三三三七)  
棄権者数 二二六八人  
(男九三〇・女一三三八)  
投票率 七三・六四%  
(男七七・四八 女七〇・一〇)

◎地方選出議員  
投票総数 六三三六票  
有効投票 五八九七票  
無効投票 四三九票  
得票数(按分の端数を除く)  
当選 武内 五郎 二四一〇票  
当選 佐藤 芳男 二二六九票  
高月 辰桂 九三三票

佐藤佐藤治 一八四票  
増築することになりました。町財政も容易なことではありませんが、一つ一つを着実に実現して、将来に悔のないりつぱな町にしてゆきたいと思つています。これからもみなさんの御協力をお願いいたします。

## 全国選出議員

△は当選を、▲は落選を示す。  
①重政廣徳△三六四②上林忠次△三二六③野上 元△二八六④鹿島守之助△二六一⑤下村 定△二四九⑥柴谷 要△二四四⑦牛田 寛△二二三⑧千葉千代世△二二一⑨鶴園哲夫△一九〇⑩青木一男△一七九⑪山本すき△一七六⑫橋本一▲一九九⑬田中正文△一九九⑭赤松常子△一五九⑮前田久吉△一三〇⑯榎原茂嘉△九九⑰植垣弥一郎△九八⑱金丸富夫△九八⑲横山フク△九六⑳鈴木市蔵△八六㉑原島宏治△八三㉒加賀山之雄△八〇㉓辻 政信△七五㉔橋本正康△七三㉕奥むめお△六七㉖武正総一郎△六三㉗向井長年△五四㉘岡村文四郎△五二㉙小平芳平△五一㉚高良とみ▲五〇㉛大谷よし雄△四九㉜鮎川義介△四七㉝山本伊三郎△四四㉞大坪藤市△四二㉟田中清一△三九㊱大木 実△三七㊲高野一夫△三六㊳林 塩△三四㊴徳永正利△三三㊵野本岳吉△三一㊶真崎勝次△三一㊷森田義衛△三〇㊸井上ナツ子△二九㊹松本治一郎△二九㊺中川原 一郎△二九㊻佐々木庸▲二九㊼久保 等△二八㊽花田 伝▲二七㊾大倉精一△二五㊿追千代子▲二五㊽鈴木恭一△二四㊾吉田ケン▲二四 (以上は町の得票数が五十二位までの者)

◎星名千春(弘一長女)伊友◎熊田英吾(昌吉五男)発電所通◎南雲 亨(定平三男)寺屋◎羽鳥晴美(力夫二女)伊友◎丸山 政(三男三長男)中央町◎藤野 栄(一男長女)田中◎羽鳥明樹(政治三男)木落◎野沢 正(泉二男)仁田◎野沢 薫(司郎長女)野口◎村越利一(伊一長男)野口◎小幡忠義(辰芳長男)木落◎清水ひるみ(菊蔵長女)上野◎上村健二(豊治二男)上野◎渡辺悦子(一郎長女)新町◎若山高志(登長男)新町◎鈴木裕子(義二女)新町◎片桐義仁(増美長男)小白倉◎佐藤真由美(順長女)霧谷◎桑原 泉(元平二女)大白倉◎茂野春美(利男二女)藤沢◎齊木房夫(稀治一男)小幡◎樋口幸子(栄長女)中仙田◎高橋孝之(徳造三男)高倉◎高橋孝夫(力蔵二男)中仙田◎小山弘信(正広二男)赤谷◎増田方雄子(福司長女)室島◎登坂武成(賢一長男)赤谷

◎たかさご：御門満に  
◎相橋貞雄(沖立)松永和美(鹿尾島から)◎高橋森作(坪山)太田ナツ(北越坂から)◎水沢栄治

◎昇天：御めい福を祈る  
◎高橋セン(八〇)坪山◎松岡イシ(四九)伊友◎高多子(二カ月)東善寺◎田口角蔵(七八)木落◎藤達三治(五一)塩辛◎高木ナカ(七三)上野◎江口トヲ(五七)小白倉◎齊木タイ(四三)高倉◎登坂そい(四六)岩瀬◎青木フジ(七一)小幡

◎戸籍の窓から (五月分)  
うぶ声：御すこやかに

△一八◎高瀬莊太郎△一八◎須藤五郎△一四◎石谷繁男△一四◎中村順造△一三◎岡 三郎△一二◎石田次男△八◎基 政七△六◎中尾辰義△五◎天の良吉△五◎永岡光治△四◎北屋教真△三◎豊瀬慎一△二◎阿久根 登△〇

## 戸籍の窓から

◎星名千春(弘一長女)伊友◎熊田英吾(昌吉五男)発電所通◎南雲 亨(定平三男)寺屋◎羽鳥晴美(力夫二女)伊友◎丸山 政(三男三長男)中央町◎藤野 栄(一男長女)田中◎羽鳥明樹(政治三男)木落◎野沢 正(泉二男)仁田◎野沢 薫(司郎長女)野口◎村越利一(伊一長男)野口◎小幡忠義(辰芳長男)木落◎清水ひるみ(菊蔵長女)上野◎上村健二(豊治二男)上野◎渡辺悦子(一郎長女)新町◎若山高志(登長男)新町◎鈴木裕子(義二女)新町◎片桐義仁(増美長男)小白倉◎佐藤真由美(順長女)霧谷◎桑原 泉(元平二女)大白倉◎茂野春美(利男二女)藤沢◎齊木房夫(稀治一男)小幡◎樋口幸子(栄長女)中仙田◎高橋孝之(徳造三男)高倉◎高橋孝夫(力蔵二男)中仙田◎小山弘信(正広二男)赤谷◎増田方雄子(福司長女)室島◎登坂武成(賢一長男)赤谷

◎たかさご：御門満に  
◎相橋貞雄(沖立)松永和美(鹿尾島から)◎高橋森作(坪山)太田ナツ(北越坂から)◎水沢栄治

◎昇天：御めい福を祈る  
◎高橋セン(八〇)坪山◎松岡イシ(四九)伊友◎高多子(二カ月)東善寺◎田口角蔵(七八)木落◎藤達三治(五一)塩辛◎高木ナカ(七三)上野◎江口トヲ(五七)小白倉◎齊木タイ(四三)高倉◎登坂そい(四六)岩瀬◎青木フジ(七一)小幡

◎戸籍の窓から (五月分)  
うぶ声：御すこやかに

◎昇天：御めい福を祈る  
◎高橋セン(八〇)坪山◎松岡イシ(四九)伊友◎高多子(二カ月)東善寺◎田口角蔵(七八)木落◎藤達三治(五一)塩辛◎高木ナカ(七三)上野◎江口トヲ(五七)小白倉◎齊木タイ(四三)高倉◎登坂そい(四六)岩瀬◎青木フジ(七一)小幡

区	票	得票	得票率	得票数	得票率
第一区	2,114	1,441	67.8	414	25.6
第二区	1,777	51	2.8	24	1.3
第三区	3,622	2,033	56.1	8	5.5
第四区	1,113	655	58.8	218	25.9
第五区	3,933	2,122	53.9	79	2.0
第六区	56	51	91.1	5	8.9
第七区	9	8	88.9	1	11.1
第八区	5	5	100.0	0	0.0

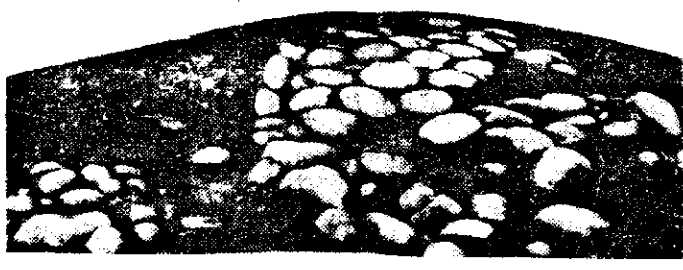
◎昇天：御めい福を祈る  
◎高橋セン(八〇)坪山◎松岡イシ(四九)伊友◎高多子(二カ月)東善寺◎田口角蔵(七八)木落◎藤達三治(五一)塩辛◎高木ナカ(七三)上野◎江口トヲ(五七)小白倉◎齊木タイ(四三)高倉◎登坂そい(四六)岩瀬◎青木フジ(七一)小幡

# 日本で四番目のもの 組石群遺跡を確認

## 中子遺跡を慶大で調査

慶義塾大学で行なつた中子遺跡の発掘は、これまで日本に例がないといわれる組石群遺跡を確認わが国の考古学史上に貴重な成果を収めて終了した。

前後一週間にわたつて実施された調査は、五月十六日から開始され、藤田亮策（日本考古学協会委員・東京芸大教授）松本信広（慶大教授）清水潤三・江坂輝弥（慶大助教）佐津備洋・可児弘明近藤 正（慶大考古学研究室）の各氏を中心、町内外有志と十日町高校地歴部の協力によつて、



細かい調査のメスが加えられた。これほど大がかりな調査を行なつたのは何のためであつたか、どんな成果があつたのか、各教授の談話から、そのおもしろさを伝えよう。

1 古代の人たちが土器や石器を生活の道具に使つていたことはだれもがよく知つてゐる。しかし、いつたものとは別に、大規模な石造遺構（大きな円形を描いて石を敷き並べたもの）を作り、それが生活のささえになつてゐたらしい、という説が、学者の間で問題視されるようになったのは、昭和十七年に大湯遺跡（秋田）が発見されて以来のことである。

2 戦後の説をウラ付けようとして、昭和二十二年と二十五年に大湯遺跡の再調査を行ない、またその後に見つされた船生遺跡（栃木・二十七年）尻屋遺跡（青森・三十年）を発掘して、このナソを究明しようと調査してきたが、「たしかにそうである」と断定するまでにいたらなかつた。

3 中子遺跡の発掘は全国で四番目に実施されたこととなるが、今次の調査で確認された石造遺構は、組石群遺跡（約三・四千年前）と名付けられ、これまで問題となつてきた前記①②の学説がハッキリしてきたことは、わが国考古学界の前進を意味するものでこの点大きなプラスをもたらして

くれたことになる。

4 前記四カ所のうちでも、中子遺跡は日本の最南端にあつており、しかも新潟県で発見されたことは当時の文化や気候風土を究明することからいつても、きわめて重大な意味をもつてゐる。

5 こんど発掘した組石群遺跡はA墓地であつたのか、B宗教的な儀式に使われたものか、といふことがキモンとされ、これから慶大の手によつて究明されることになつてゐるが、発掘カ所に当時の生活必需品が少なかつた点などからBの説がよい。

6 遺跡地の大半がブルドーザーで破壊されてゐるため、その全ほろをつかむことのできないのは惜しい。もし昔のままに残されていれば文部省の特別史跡に指定され、日本一の遺跡地として脚光を浴びたことだろう。

7 写真は発掘された組石群遺跡の一部 撮影：江坂助教

## 庁内めぐり (8)

### 戸籍係の巻

「キミは人が悪い……」というエンサの声をよそに、今月もまためぐらなければならぬ。

庁舎につく敷石をふんで、正面玄関のトビラをあけるとまずつきあたるのが戸籍係。いままで男掛だつたここにも女子職員が入りかけてゐることに気がつく。戸籍といへば人の身分関係を取り扱うだけに、どこでも重要視される係ではあるけれど、対外的な折衝もなければ事業費もない、地味な仕事であるといえる。

カケ値なし、だれに聞いても評判のいい五人の職員は、みんな筆の通者なベテランぞろい。戸籍の改製といふあれほど大きな仕事をこなし中には終わらせたいとハリ

特殊なところだといふ、昔からの考えがみんなの頭にしみこんでいて、現在の民主的になつた役場を理解しようとしないうために起る批判の声であるかもしれない。しかし、こういう声があるサラには、やはり職員の方からも考えてもらわねばならぬ点が多々あるようだ。一つの例として、近所の職員といつても親しく話をきいたり、あつちつたりしてゐるのに、たまにま用事で役場に行つたときなどこつちでふだんのつもりで話しかけても、お役人顔で受け答えされたり、うわががそばにゐるのであつてもさうくはない。と、いふや

キル人たちである。

数藤係長（末島町）は寺ヶ崎の生まれ、飲むといわれた家系であるのに百八十里もあればすぐに赤くなるゲコだが、コヌカ五百四十三ミリリットルがなくて長縁にめぐり合つた人。公私とも美にまじめで、よく勤めるこの人にはテキもなく、決して悪妻家でもない。

松沢良平氏（上野）は一見トツツキニクイ感じのする人だが、根はいつたつて善良。合併前に上野村青年団長だつたころの手腕は、いまもつて若い人たちに人気がある。みんなから「つてもいい人」といわれるだけに、人知れずルがいるのかも知れない。

須藤良平氏（仁田）は明るい性格の人。飲むと陽気になるほうだが、それだけ仕事にも熱心さがみられる。若いときのイコツさ比べでめつきり人ができたというし「セミ・ラブからよいムコグチをあてた」とうらやむ人が多い。

お米の配給は、やみ米の横行などによつて、都会でもさしてことかかない現状のようでありませう。これから暑さに向かいますと、例年のように任染病が発生します。不幸にして入院された場合、病院からお米に替わる外食券を請求されますが、この外食券は次の方法で交付されます。

一 食を百二十グラムとして計算して、一日分（三食）三百六十グラム（二合四勺弱）です。

二 配給を受けておる方は、外食券相当量を配給割当から差引きます。生産世帯の場合は、必要数量だけ保有米を配給所へ売り渡し、配給所からは、買戻つたこと証明書をもちつて役場で引き替え交付を受けるようにしてください。

なお外食券の交付限度は、消費費にあつては当月分の割当量の範囲内です。生産世帯の場合もおおむね消費者に準じます。詳細は係におたすねください。（戸籍係）

## 町の声

### 役場職員に一言

役場職員の言動については、以前にもこのらんにのせられたかと思ふ。役場職員はこの町の種々な仕事の分担者であり、町民と密接に関係している人々たちなので、それだけにどやかく批評されるわけだが、わたくしもおえて一言申させていたたく。

よく「役場には行きすらい」とか、「役場の人たちはトツキニクイ」といふことを耳にする。これは役場というものは

# 危い！ やめてくれ

## 自転車 の 二人 乗り

このごろ自転車の二人乗りがめだつて多くなつてきた。全国の統計を見ても、自転車の二人乗りによる交通事故の率はきつめて高いなせだろか。ほんのちよつとしたことからすく大きな事故になつてしまふのに、一般がなかば公然と二人乗りをして、いささかも違反を意識しないところに問題がある。

法の根拠は次のようになつてゐる。よく読んで、これからは絶対に二人乗りをやめてほしい。

①道路交通取締法第二十三条に、「諸車の乗車制限について必要な事項は、命令でこれを定める」となつてゐる。

②命令は、同法施行令第三十八条に「諸車の使用主又は運転者は、乗車又は積載のために設備された場所以外に乗車させ、又は積載をしてはならない」とある。

③新潟県道路交通取締規則第九条に「道路において、第一種バイク又は自転車の運転者は他人を乗車

させてはならない。ただし自転車に乗車席を設け、安全な方法で幼児(六才未満)を乗車させる場合はこのかぎりでない」とある。

④道路交通取締法施行令第七十二条には「違反した者は三千円以下の罰金又は科料に処する」という罰則がある。

(川西部長派出所長 藤田省三)

## 新農村建設 事業きままる

西部地域(旧仙田村)は、ことしから三年の予定で、新農村建設特別助成地域の指定を受けています。本年度補助対象地区の県審査も五月二十七日に行なわれ、このほど農林省の審査を経ました。ことしの事業は別表のように実施されます。(藤林保)

地区	事業量	事業費	国庫補助金	公庫融資額	受益者負担
小 部	950	1,100	220	700	180
大 白 倉	720	800	120	380	100
小 部	5	1,300	493	640	167
山 部	563	122	56	-	66
山 部	194	92	42	-	50
小 白 倉	377	147	69	-	78
合 計		3,361	1,000	1,720	641

## ふるさと

ことは特別としても、田植えが年々早くなつてきたことが増収の一つの原因であり、それはまた耕運機の普及に負うところが大きい。それだけに至る所でオヤジ族とセガリ族との間で、耕運機導入をめぐる深刻な冷戦がくりひろげられている。オヤジ族のソロバンではどんなに頭をひねつても、耕運機を入れたることによつては収支がつかぬ。二十万という大金では、利息だけで便に全肥料を費料してもらつてもオツトが来る、という答えが出るのだ。にもかかわらず、結局はオヤジが折れて、セガリは耕運機のハンドルをにぎることになる。要するにオヤジ族の旧式のソロバンでは阻止できない一種の革命が進行中なのだ。△明治の昔、アンドロに代つてランブがはやり出した時、その出費をそれと「ランブと国論」が喧えられたというが、肝心なのは問題を前向きに解決するか、うしろ向きに切りぬけるかということである。牛馬耕と比較して機械的に収支を論ずるのは、米のメシとランブを比較すると同じうしろ向きの考えだ。△耕運機が発生し、普及するといふことは、いわば社会発展の法則に基づくもので、農家の生活水準が、耕運機の導入を必要とする可成り向上したからなる。だから、耕地・農道の整備、知性を鍛えなくては、と思ひます。農繁期が終わつて、△各地の教師に物思わせる六月です。困難な教育情勢の中でのわたくしを、どうか励ましてください。(花村ゆき)

## かわにし健康

薔薇の花はくれ初めたる雨の中  
小手毬の夫々にある雫かな  
初雫飛び来る闇の深さかな

若 蕨 桂 子  
夕映えや青田の町をゆるりゆりて  
馬洗う水をすれすれつづはめとぞ

中仙田 竹 治  
匂い来る夜風とどこかに桐の花

若 蕨 喜美子  
泣いて来る子が見え葉を履み急ぐ

大 倉 洋 石  
蝶二つもつれて星の空深く

下 原 仁 子  
若杉を初夏の陽もさる永平寺

◎本紙は、毎月十日の発行日まで、必ず嘱託員さんあてお届けすることになってゐます。一部の地域は前日に郵送いたします。

◎「アンテナ」に替つて「ふるさと」が生まれました。「ふるさと」の執筆は、長兵から担当していただきます。

◎花村ゆき先生、あなたのお手紙には、わたくしたちの心をうつ何かがあります。これからも毎月掲載させていただきます。

◎はや六月もなかな。町ゆく人のよそおいが、もう夏であることを感じさせてくれます。田植えあとの種田にもみどりが増してきました。

夏になりなす花を咲きて

(華文)

## よろこばれた 季節保育所

五月十五日の木落を皮切りに、三箇・伊友・上野・山の根・元町・中仙田・赤岩・室島の九カ所に、この季節保育所が開設された。朝七時から夜六時まで、毎日二十人の保育さんが五百人の子ともたちを相手に、遊戯や紙芝居などもラクそに見える町場にあこがきはなしなどて楽しく過ごさせながらしつけ教育も行ない、忙しい家をもつたお母さんたちから感謝の言葉をきかされた。(社会係)

## ある女教師の手紙

嫁やせてめでたく終わる田植えかな。これが豊原のみす種のか。長い伝統なのでしょか。嫁さんだけでなく、子どもたちにも影響があることを体重グラフで見せつけられました。田植えと子の村の子たちの体重は、都市の子に比べてずつと落ちます。もちろん学習にも響いて、知育、体育では徳育だけは、働くクセがついてうまいくかというところ、これは徳育だけじゃなく、町場にあこがきはなしなどて楽しく過ごさせながらしつけ教育も行ない、忙しい家をもつたお母さんたちから感謝の言葉をきかされた。(社会係)

## 編集後記

町ゆく人のよそおいが、もう夏であることを感じさせてくれます。田植えあとの種田にもみどりが増してきました。

夏になりなす花を咲きて

(華文)